

授業科目名	教育社会学演習I
科目番号	CB25312
単位数	1.0 単位
標準履修年次	3 年次
時間割	秋AB 火4
担当教員	徳永 智子
授業概要	教育社会学や関連領域の基本概念および理論を学び、様々な教育事象を社会学的な観点から分析する力を身に着ける。階層と教育、若者とトランジション、グローバリゼーションと教育、ジェンダー・セクシュアリティと教育、若者文化、質的研究方法など、教育社会学が扱う幅広いテーマや方法論への理解を深めていく。毎回、受講生が文献に基づく報告をし、全員で討論する。
備考	社会教育主事 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	批判的・創造的思考力、データ・情報リテラシー、教育学における総合的思考力、教育的実践力
授業の到達目標（学修成果）	教育社会学や関連領域の基本概念および理論を学び、様々な教育事象を社会学的な観点から分析する力を身に着ける。受講生の研究関心に合わせて、階層と教育、若者とトランジション、異文化と教育、ジェンダー・セクシュアリティと教育、若者文化など、教育社会学が扱う幅広いテーマおよび質的研究方法への理解を深めていく。
授業計画	毎回、受講生が論文（『教育社会学研究』・『子ども社会研究』・『異文化間教育』）に基づく報告をし、全員で討論する。 第1回 オリエンテーション 第2回 教育における質的研究方法 第3回 家族と社会化 第4回 学校と子ども文化 第5回 階層と教育 第6回 教育問題 第7回 地域と教育 第8回 ジェンダー・セクシュアリティと教育 第9回 異文化と教育 第10回 若者とトランジション 上記の授業内容は、受講者の数や関心によって変更する可能性がある。
履修条件	教育社会学 を受講していることが望ましい。
成績評価方法	授業への貢献・積極性:30% 発表:30% レポート:40%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	全員、授業前までに指定論文を精読し、ディスカッションの準備をするなど、十分な予習の時間が求められる。
教材・参考文献・配付資料等	以下は参考文献です： 1. 相澤真一・伊佐夏実・内田良・徳永智子（2023）『これからの教育社会学（y-knot）』有斐閣。 2. 飯田浩之・岡本智周編（2018）『教育社会学』ミネルヴァ書房。

教材・参考文献・配付資料等	<p>3. 岸政彦・石岡丈昇・丸山里美 (2016) 『質的社会調査の方法:他者の合理性の理解社会学』有斐閣。</p> <p>4. 日本教育社会学会編 『教育社会学研究』東洋館出版社。</p> <p>5. 日本子ども社会学会 『子ども社会研究』内外出版。</p> <p>6. 異文化間教育学会 『異文化間教育』国際文献社。</p> <p>7. 日本教育社会学会編 (2018) 『教育社会学事典』丸善出版。</p> <p>その他、参考文献は適宜授業中に指示する。</p>
オフィスアワー等(連絡先含む)	水曜11:30-13(事前の appointments をとること) tomokot human.tsukuba.ac.jp(を at に)
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	学生による発表、ディスカッション、質疑応答、グループワーク等を取り入れた、双方向型の授業を行うため、学生の積極的な参加が求められる。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	社会学的想像力, 社会調査, 質的研究